

第3章 市民意識・活動

3.1 アンケート調査

(1) 市民アンケート調査

① 調査概要

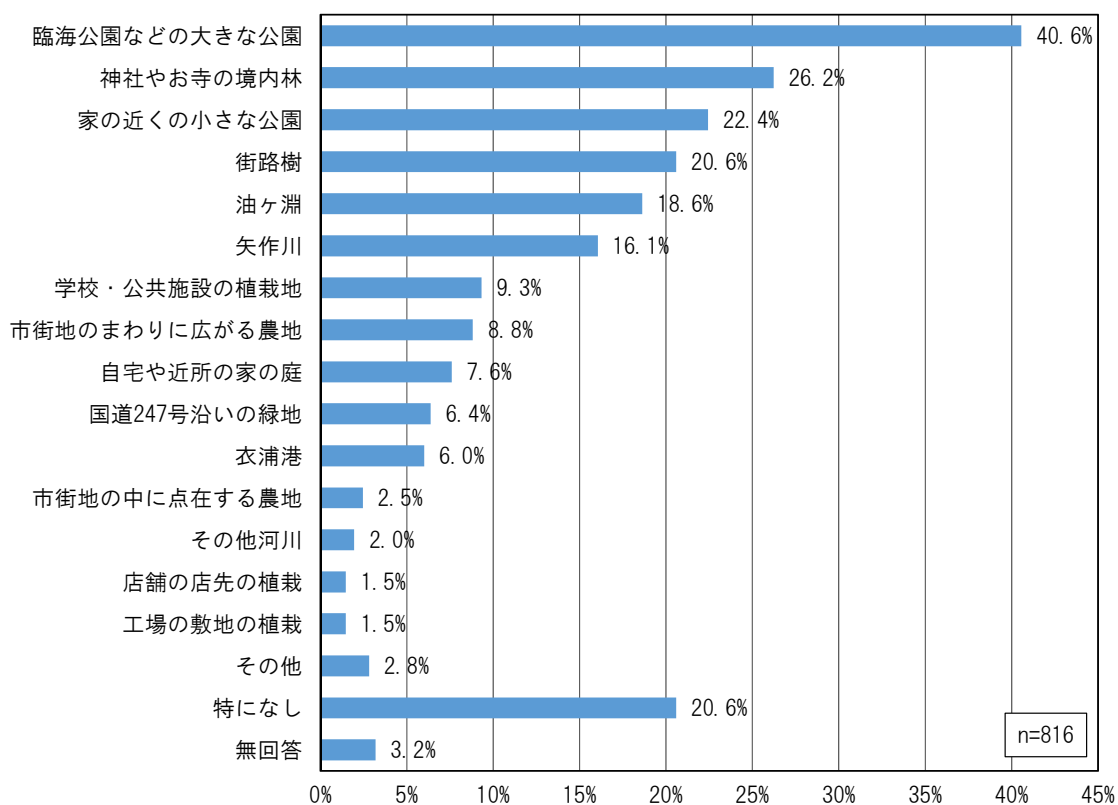
碧南市の「まちづくり・緑づくり」に関する市民意識を把握するため、市内在住の満20歳～79歳の市民（無作為に2,000人を抽出）を対象にアンケート調査を実施しました。

- ・実施期間：平成29年12月。郵送による発送・回収
- ・配布票数と回収票数

配布票数	回収票数	回収率
2,000	816	40.8%

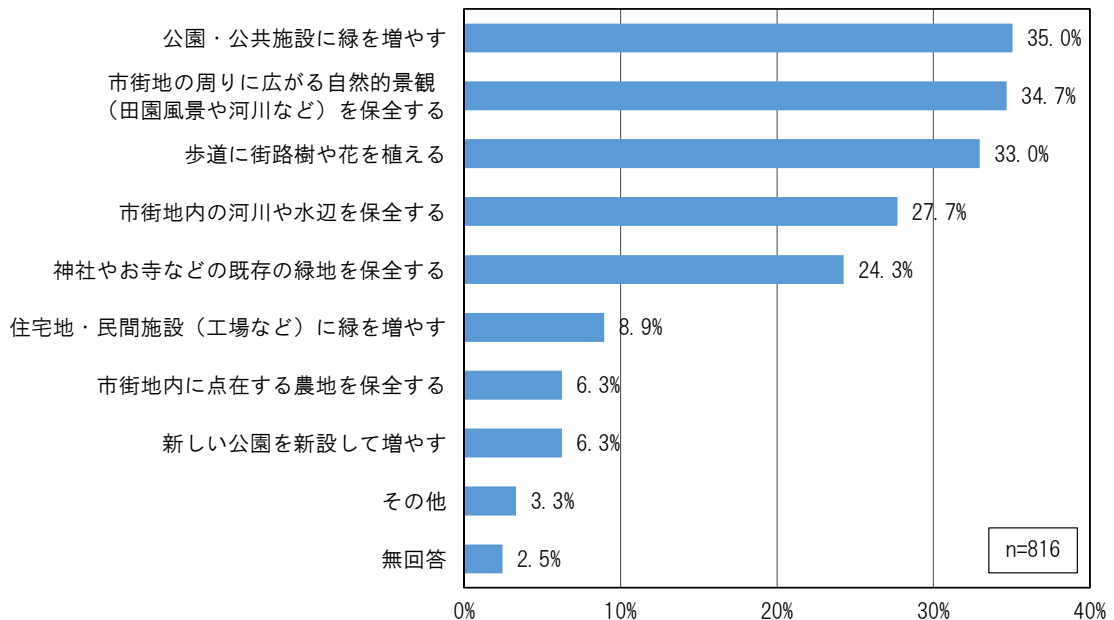
② 市内で好きな緑

市内で好きな緑として、「臨海公園などの大きな公園」が最も多く、次いで「神社やお寺の境内林」、「家の近くの小さな公園」、「街路樹」の順に多い結果となりました。



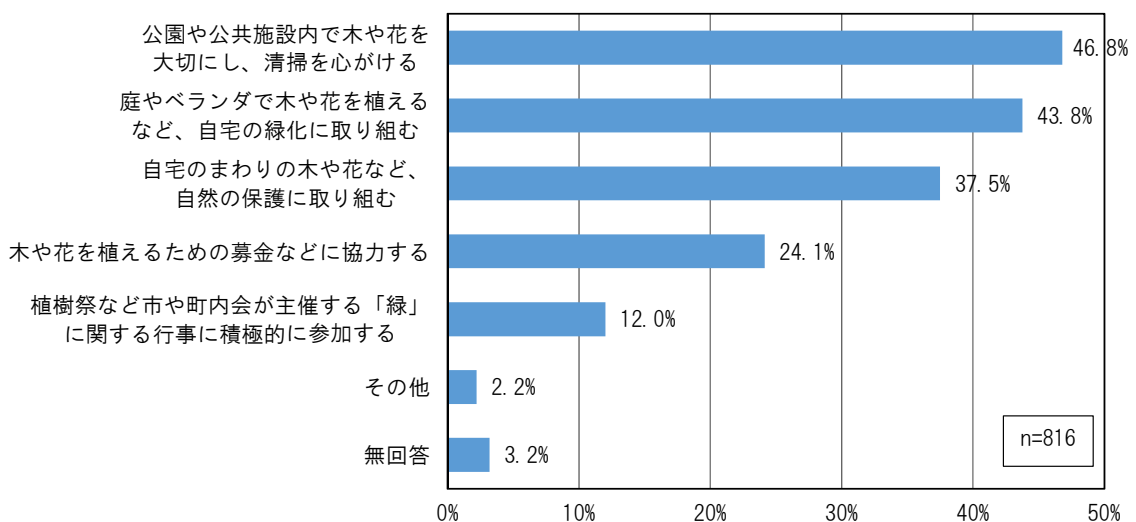
③ 緑豊かな生活環境を確保するために必要なこと

緑豊かな生活環境を確保するために必要なこととして、「公園・公共施設に緑を増やす」、「歩道に街路樹や花を植える」といった公園、公共施設、街路の緑化に関する事項と、「市街地の周りに広がる自然的景観を保全する」、「市街地内の河川や水辺を保全する」といった身近な緑の保全に関する事項の回答がそれぞれ多く得られました。



④ 緑豊かなまちづくりのために、取り組むことができること

緑豊かなまちづくりのために取り組めることとして、身近な場所の緑化や清掃に対する回答が多くなりました。

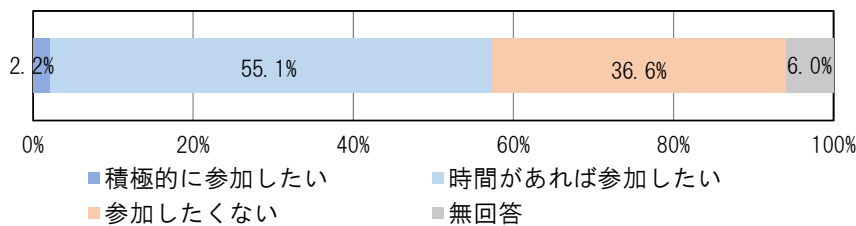


⑤ 街路樹、公園、花壇等の維持管理ボランティアについて

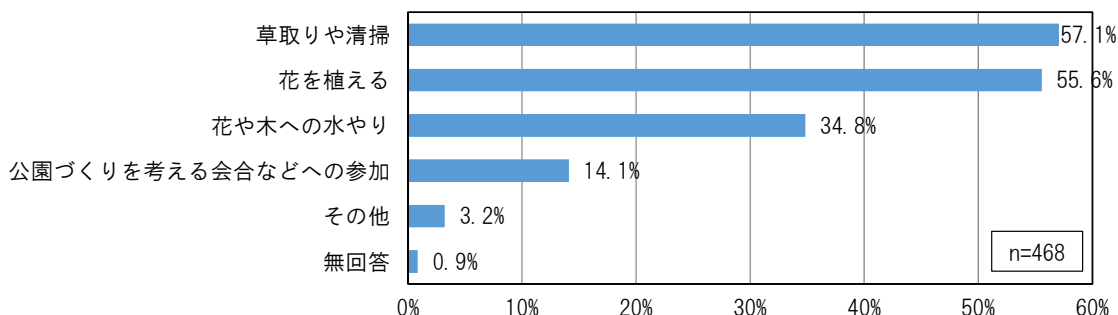
街路樹、公園、花壇等の維持管理ボランティアへの参加意向は全体の60%近くと高

く、具体的な活動として「草取りや清掃」、「花を植える」等比較的軽微な活動への参加希望が多い結果となりました。

・ボランティア参加意向



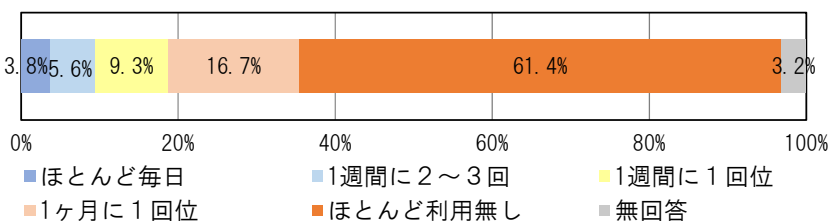
・ボランティア活動で参加したい具体的な内容



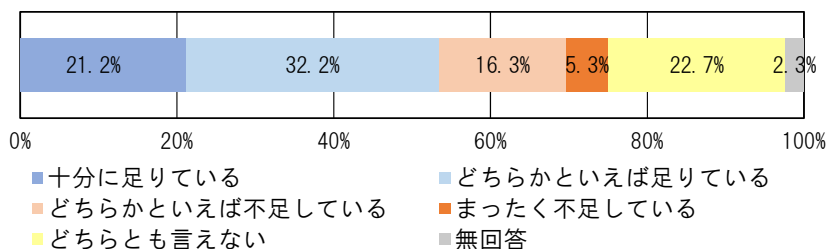
⑥ 公園について

公園の利用頻度に関しては、1週間に1回以上利用している人は20%程度で、ほとんど利用無しが60%を超えています。公園の数に関しては、足りている（「十分に足りている」、「どちらかといえば足りている」の合計）と感じている方が50%を超えています。

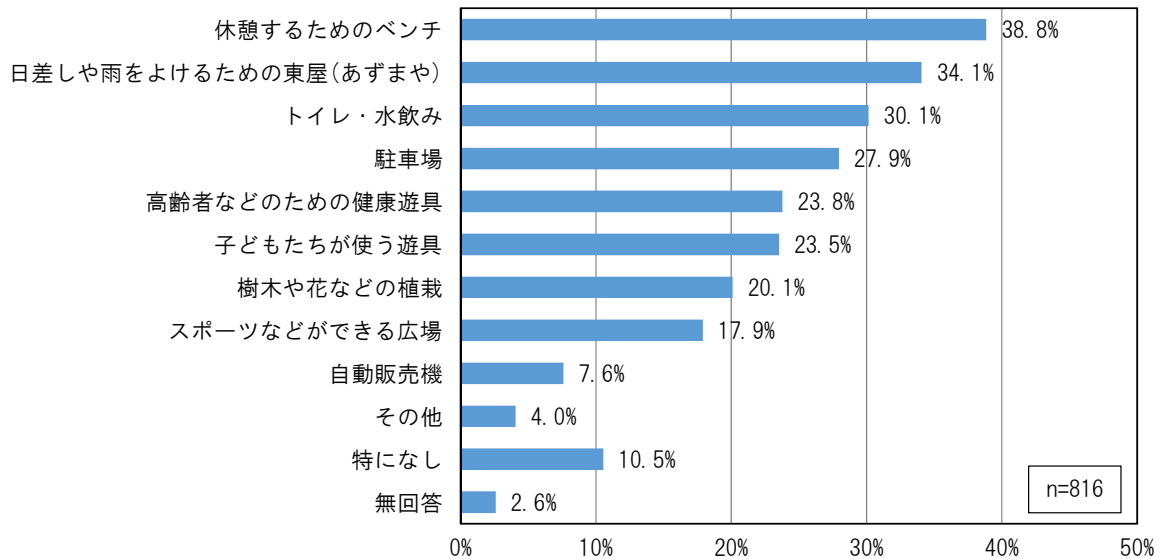
・利用頻度



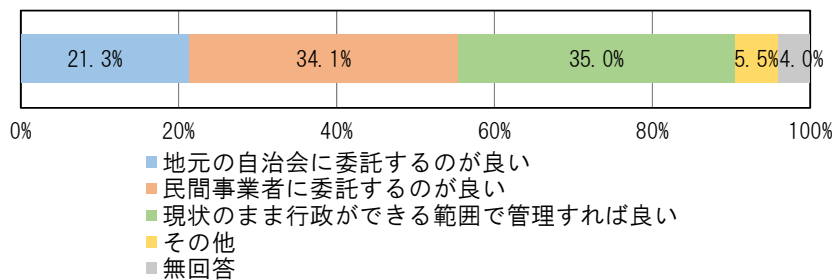
・公園の数



近所の公園に欲しいものとしては、ベンチや東屋等休憩用の施設への要望が高い結果となりました。



今後の公園の管理方法については、「民間事業者に委託するのが良い」、「現状のまま行政ができる範囲で管理すれば良い」がともに1/3を超えています。



⑧ 自由意見

自由意見の中から、計画策定に参考となる意見の主なものを以下に示します。

- 子ども達がボール遊びできるスペース（グラウンド）ができるといい。
- 小さな公園でも、駐車場を作ってほしい。碧南では車がないと公園を利用することがあまりできない。
- 油ヶ淵水辺公園の早い完成、緑豊かな公園として欲しい。
- 農地の休耕化が進むと思われるので、ある程度まとめて、公園等にして活用していく。
- 碧南は緑も多く、公園、図書館、公民館、美術館や神社、お寺も多く、歩いても楽しく、住みやすい市だと思う。ただ、水路や川にゴミが多く浮かんでいることがあり、もう少しキレイになると良いと思う。
- 歩道や公園でも緑のある場所は全て近くの人または団体にて管理してもらおう。手当てを与えて、きれいな碧南のイメージを市民全体に植え付けるべきだと思う。
- 一般的に街路樹は落葉樹が植栽され、秋には紅葉（黄葉）となり、季節を楽しむことができるが、落葉が水路口をふさぎ、多量の雨が降ると水があふれ出てしまうため、樹木等の維持管理体制作りが重要と思われる。
- 碧南は、公園は十分あるけれど、利用する子ども達がほとんどいない。

- 公園の管理・運営は地元の自治体・小中学校でしたい。出来るだけ多くの人に参加できるイベントを考えたい。
- 植木祭りのような、緑にまつわるイベントを増やしてほしい。
- 市内には水辺か田畑か雑木林が多いので、そのような環境を身近に思えるようなイベントや、学べる施設等があったらいいと思う。

(2) 中学生アンケート

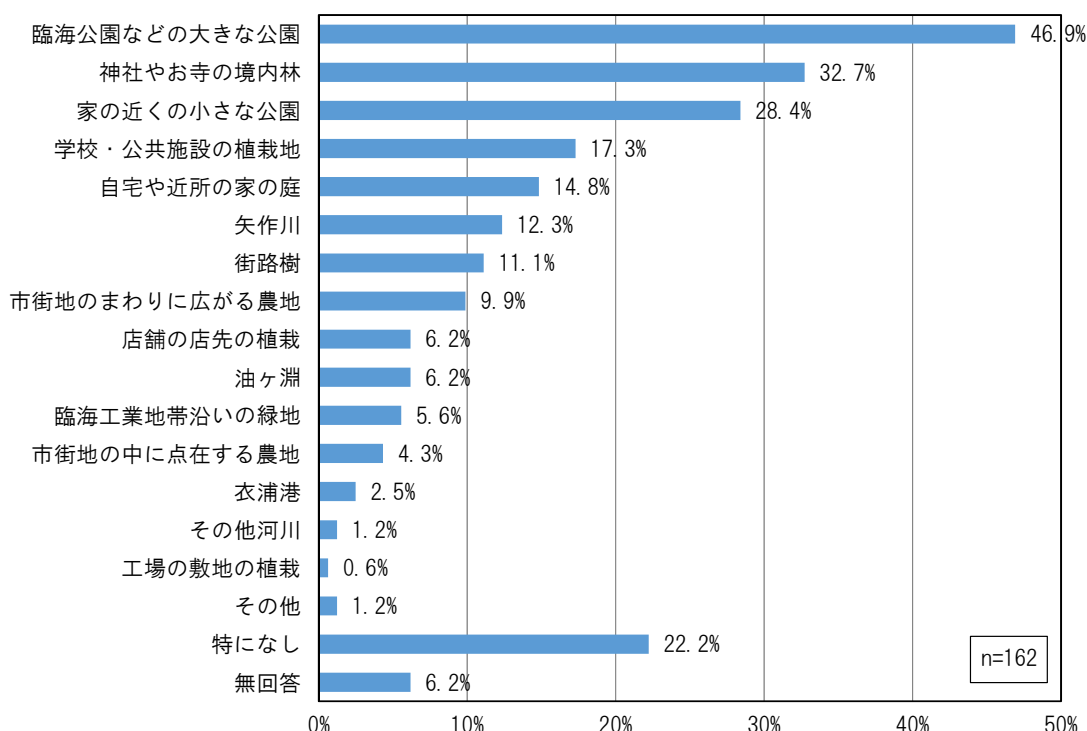
① 調査概要

市内の中学生が碧南市の「緑」の現状と将来をどのように感じ、考えているかを把握するため、市内の中学3年生を対象にアンケート調査を実施しました。

- ・実施期間：平成29年12月。学校にて配布・回収。
- ・回収票数：162票

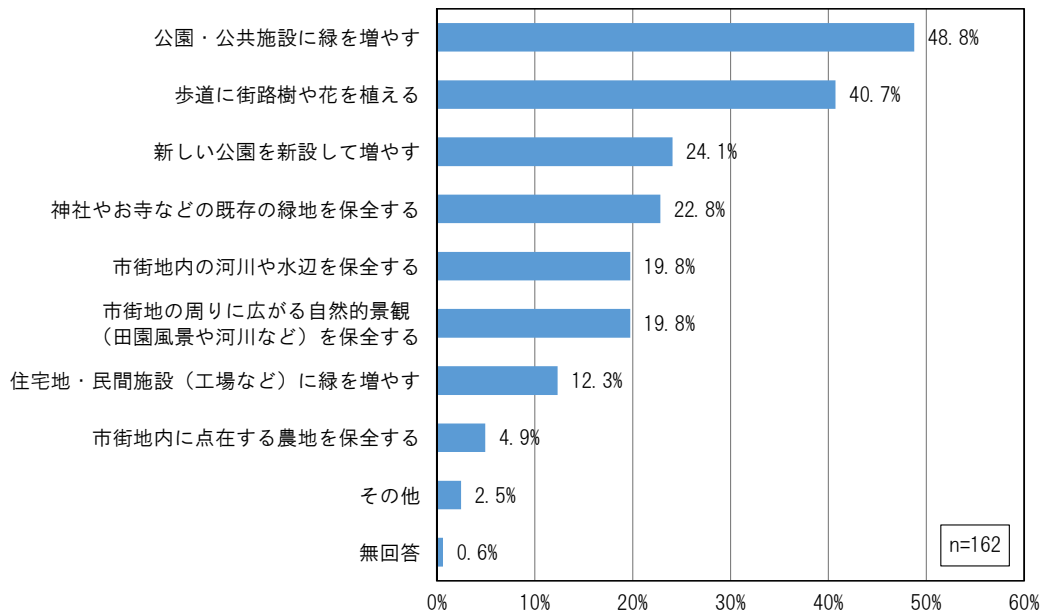
② 市内で好きな緑

市内で好きな緑として、「臨海公園などの大きな公園」が46.9%と最も多く、半数近い。次いで「神社やお寺の境内林」(32.7%)、「家の近くの小さな公園」(28.4%)の順で多い結果となりました。



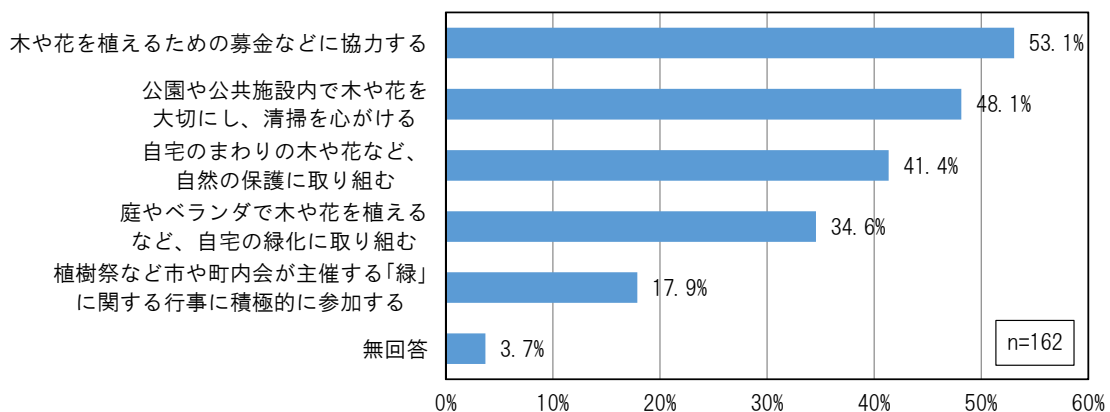
③ 緑豊かな生活環境を確保するために必要なこと

「公園・公共施設に緑を増やす」(48.8%)、「歩道に街路樹や花を植える」(40.7%)がそれぞれ40%を超え、身近な場所での緑化に関することが多くなりました。



④ 緑豊かなまちづくりのために取り組むことができること

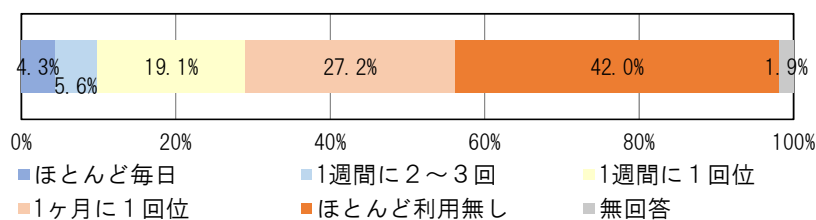
「木や花を植えるための募金などに協力する」（53.1%）、「公園や公共施設内で木や花を大切にし、清掃を心がける」（48.1%）の順で多い結果となりました。



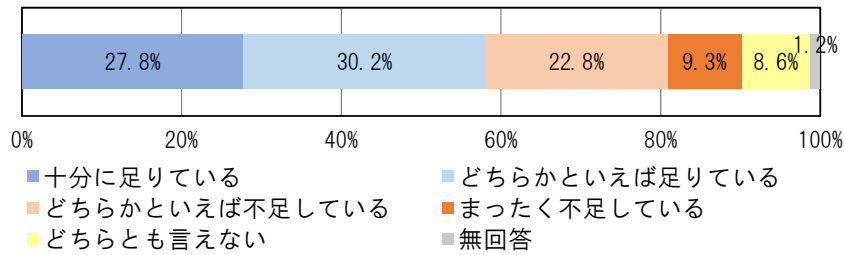
⑤ 公園について

公園の利用頻度に関しては、1週間に1回以上利用している人は30%程度で、市民アンケートよりも多く、ほとんど利用無しは約40%となっています。公園の数に関しては、足りている（「十分に足りている」、「どちらかといえば足りている」の合計）と感じている方が60%近くになっています。

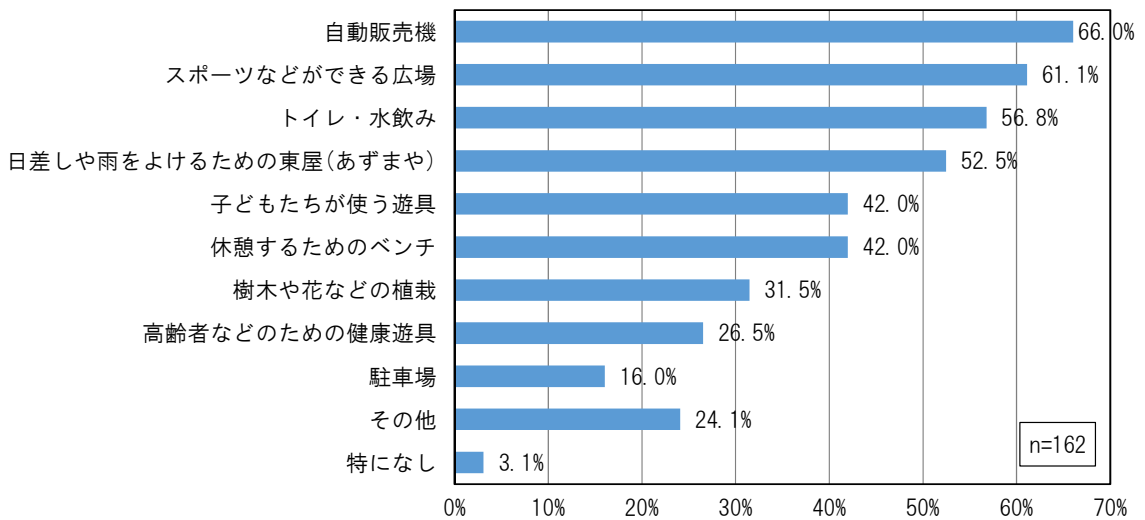
・利用頻度



・公園の数



近所の公園に欲しいものとしては、「自動販売機」、「スポーツができる広場」、「トイレ・水飲み」、「日差しや雨をよけるための東屋」が、それぞれ50%を超えています。



⑥ 自由意見

自由意見の中から、計画策定に参考となる意見の主なものを以下に示します。

- 中学生でも楽しく遊べる遊具がほしい。バスケットゴールのある小さな公園が身近にほしい。
- 公園内に自動販売機があるといい。
- 道路等が増えているので、街路樹等を増やしてほしいし、街路樹も手入れしてほしい。
- 公園にはゴミが多く落ちているので、わかりやすい場所にゴミ箱を作る等したら良いと思う。
- 近くの公園に週2~3回水やりをしてくれているおじさんを見て、緑は大切なんだと思うことができた。
- ボランティア等、植物を植える活動やゴミを回収する活動等した方が良いと思う。
- 公園等のトイレをもっときれいにして、臭くないようにしてほしい。
- 緑がないと美しくないし酸素も減ってしまうので、緑化運動を積極的にしたい。

3.2 緑に関する市民活動

(1) 公園等愛護会

公園等愛護会の概要

登録条件	地域住民で構成される団体で次の要件に該当する。 ・市内の各種団体 ・地域住民5人以上で構成
活動内容	・公園等の清掃 年12回 ・公園等の除草 年6回 ・公園等の花壇の手入れ 必要時 ・公園等の施設点検 年12回（報告は必要時） ・その他公園等の管理について必要な事項 必要時
提出書類	・活動届（4月） ・上半期の実績報告書（10月） ・下半期の実績報告書（3月）



公園等愛護会の活動

(2) 老人クラブ

老人クラブの緑に関する活動の概要

清掃奉仕活動	地域の遊び場（児童遊園、ちびっ子広場）等の清掃
ふれあい農園	保育園児とともに作物を収穫
花いっぱい活動	老人憩いの家付近等の花壇の除草及び季節の草花の栽培

(3) 花いっぱい活動

花いっぱい活動の概要

活動内容	公園等の花壇用花苗を現物支給（年2回）し、前植えの片付け・耕起・配置・植付け・除草及び灌水の作業をボランティアで実施。
------	---

(4) 緑化団体アンケート

① 調査概要

市内の緑化関係団体の活動状況等を把握するため、市内で活動する緑化団体を対象にアンケート調査を実施しました。

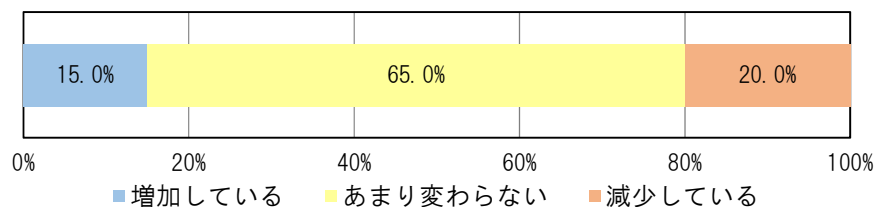
- ・実施期間：平成29年12月。郵送による発送・回収。
- ・配布票数と回収票数

配布票数	回収票数	回収率
21	20	95.2%

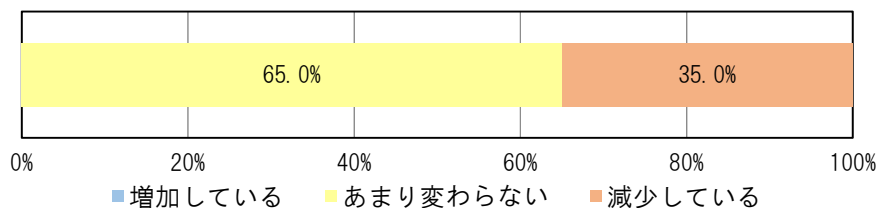
② 団体の活動状況

会員数については、「増加している」、「あまり変わらない」と回答した団体は80%となっていますが、残りの20%は減少しています。また、実際の活動での参加者は「減少している」団体が35%と、やや多くなっています。

- ・会員数（登録者数）の推移



- ・実際の活動での参加者数の推移



③ 団体の活動を継続する上での問題点

団体の活動を継続する上での問題点として、「活動参加者の高齢化（若手の不足）」と回答した団体が80%あり、多くの団体が参加者の高齢化に悩んでいることがうかがえます。

